

～HPV 検査を受診する方へ～

子宮頸がんは、HPV(ヒトパピローマウイルス)へ持続感染により発症すると言われています。
HPV への感染自体は特別なことでなく、感染してもほとんどの場合が免疫力により自然に排除されます。
しかし、ウイルスが排除されずに長期間感染が続くと、ごく一部のケースで数年から数十年かけて子宮頸がんを発症する可能性があります。

がんの早期発見・早期治療のために、定期的な検診の受診を心がけてください。

【正常な細胞が子宮頸がんになるまで】

